

法曹三者トークイベント「裁判官・検事・弁護士をもっと知ろう」を開催しました！

10月に実施される「法の日」週間の一環として、高松第一高校において、法曹三者トークイベント「裁判官・検事・弁護士をもっと知ろう」を開催しました。

当イベントは昨年度より開催しており、法曹三者が業務内容や魅力等を説明し、学生からの質疑応答に答えることによって、法の意義や法曹の役割を知ってもらうことを目的としています。

今年も高松第一高校にて17名の生徒さんが参加していただきました。



高松高等検察庁から参加した細野次席検事からは「自分の正義感を仕事に反映していけるのは検察官しかないと思いました。」「検察官は、非常に大きな権限を与えられているだけに、慎重な捜査と判断によって、謙抑的にその権限を行使しています。」など、検



察官を目指したきっかけから仕事をするにあたっての心構えなど、幅広いお話をさせていただきます。

生徒の皆さんは真剣に耳を傾け、検察官の仕事に関して強い関心を示してくださっていました。



また、当イベントには、他に高松地方裁判所豊澤裁判官、香川県弁護士会馬場弁護士が参加し、それぞれの仕事の内容、やりがい、勤務日の一日の流れ、司法試験を受験したときのことなどをご自身の経験を元にお話ししていただきました。

↓ 質問コーナーの様子



その後の質問コーナーでは、「法曹に向いている人とは？」という質問に対しては、検察官が「判断を慎重にする人」、裁判官が「人に興味がある人」、弁護士が「人を信用できる人」とそれぞれに違った回答がありました。

個別質問では、「検察官の仕事をしていて大変だったことは？」「ワークライフバランスはどうか？」「趣味があるが仕事と両立できるか？」「検事に必要な能力は？」などの積極的な質問が上がり、業務のリアルな側面に多く興味を持っていただけたことを実感しました。

終了後のアンケートによると、参加者全員に満足又はほぼ満足との評価をしていた。高校生から「法曹の仕事はどれも自分の正義を貫くことができると知り、とてもいい仕事だと思いました。」「法曹と話すことができたのが一番自分の宝物になりました。将来の選択の幅が増えました」「検察官、裁判官、弁護士の仕事の内容の違いを知ることができました。」などの感想をいただきました。

当イベントを通じて少しでも法曹三者を身近に感じていただき、その職務への理解を深めていただけたら嬉しく思います。

生徒さんからの
質問に回答中→



←個別質問コーナーの様子